



2023年8月2日

各位

会社名 東邦化学工業株式会社
代表者 代表取締役社長 中崎 龍雄
(コード番号 4409 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役生産本部長 江藤 俊幸
(TEL. 03-5550-3818)

(開示事項の経過) 当社四日市工場 石油樹脂プラント操業再開のお知らせ

当社は、2023年6月27日付「当社四日市工場におけるC9留分の漏えい事故に関するお詫びとお知らせ」にてご報告いたしましたとおり、当社四日市工場（三重県四日市市小浜町300-1）の石油樹脂プラントにおいて原料のC9留分が河川に流出する事故が発生いたしました。

当該事故発生に伴い石油樹脂プラントは操業を停止しておりましたが、8月2日付で操業を再開いたしましたので、当社の対応状況及び経過について下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 経緯及び状況

- 2023年6月26日、当社四日市工場の石油樹脂プラントにおいて、定期修理明けの操業再開作業時の人為的ミスにより原料であるC9留分が漏えいし、一部（約300リットル）が公共河川に流出する事故を発生させました。
漏えい確認後、流出したC9留分の回収作業を開始するとともに所轄の消防本部及び流出した河川流域の自治会に通報するなど被害拡大防止に努めました。回収作業は6月28日に終了し、同日夕刻には所轄監督官庁（消防本部、海上保安庁、四日市市環境部等）立ち合いのもと回収完了を確認いたしました。
- 監督官庁のご指導のもと、原因究明及び再発防止対応（作業方法の見直しや作業指示書・チェックリスト等の改訂、緊急時通報体制の見直し、漏えい防止対策工事等）を実施してまいりました。なお、所轄消防本部には再発防止策を記載した「事故報告書」を提出し、7月11日付で受理されております。
- 当該事故により、河川流域の住民の皆様の中で、のどの不調、頭痛、不快感等の症状を訴えた方がいらっしゃいました。当該住民の方には直接謝罪を行い、大半の方は治癒もしくは快方に向かっていると連絡を受けております。また、近隣自治会には、工場再開に向けてご助言を頂戴するなど、大変ご協力をいただきました。
- 7月28日に漏えい事故発生を想定した訓練を実施し、漏えい防止対策に必要な工事についても7月末までにすべて完了いたしました。事故発生以降、石油樹脂プラントは操業を停止しておりましたが、再発防止策の一環で実施した工事の完成検査を8月1日に受審し、完成検査合格証を受領するに至り、8月2日より石油樹脂プラントの操業を再開いたしました。

2. 業績への影響

6月下旬の定期修理完了後の本格的な生産開始時期については、原料不足のため7月25日からを計画しておりました。当該事故の発生により生産開始が8月2日にずれ込む結果となりましたが、これによる業績への影響は軽微であります。

このたびは関係各位に多大なるご心配とご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。今後も安全な工場づくりに努め、信頼の回復に全力を挙げて取り組んでまいります。

以上